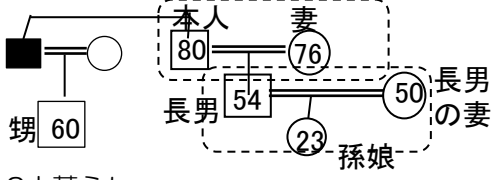
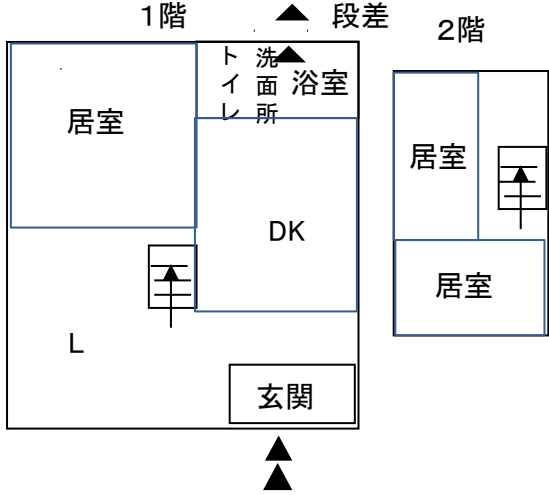


事例ケースの概要

受講生番号	12345	氏名	愛 知 太 郎		
利用者名(匿名)	Aさん	性別	男	年齢	昭和16年〇月〇日(80歳)
事例のタイトル	脳梗塞後遺症による右麻痺の80歳男性、将棋を楽しむ生活に向けての退院支援				
事例の概要	脳梗塞発症で入院、右上下肢麻痺の後遺症が残ったが、リハビリテーションにより杖歩行が可能まで回復している。今後、退院に伴い、介護保険サービスを利用し、在宅介護を希望するが、不安を感じている。				
主 訴	<p>[本人・家族の主訴・希望・要望等]</p> <p>本人は、「退院できることはうれしいが、家で生活ができるか不安です。」「最近、妻の体調が思わしくなく心配です。」と自宅での生活に不安を感じている。                  妻は、「夫と一緒に自宅で暮らしていきたいと思っているが、私は腰や膝が痛く、十分に夫の介護ができるか不安です。」と在宅介護について不安を感じている。</p>				
生活歴・生活状況	[生活歴]		[家族状況]		
	大学卒業後、大手企業のサラリーマンとして定年まで勤め、退職後は再就職し、嘱託として事務関係の仕事に65歳まで勤めた。まじめで温厚な人柄であり、発病前は近所の仲間と将棋やゲートボールをするのが趣味であった。		□：男性 ○：女性  <p>妻と2人暮らし                  妻：以前から腰と両膝に痛みがある膝関節症で近隣の整形外科に通院。                  長男：県内に在住(車で2時間程度の距離)。妻も職に就いており、日常的な介護協力は困難。</p>		
	[経過・病歴等]		[主治医のコメント]		
	令和3年6月、脳梗塞にて入院。右上下肢麻痺となりリハビリテーションにより杖歩行の状態にまで回復してきている。令和3年10月に退院予定。退院後の介護保険サービス利用のため、要介護認定申請を行い、要介護2となった。 当事業所へは病院のMSWからの紹介		歩行訓練を継続すること。降圧剤の服用を忘れないこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     主治医に病状や禁忌についても聞き取る。                 </div> <p>[投薬内容]</p> アダラート【血圧を下げる薬】 1錠 朝食後 パルジン【血管内で血液が固まるのを防ぐ薬】 2錠 朝・夕2回(食後)		
日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度   A2		認知症高齢者の日常生活自立度   正常		
認定情報	要介護 2 認定の有効期間 令和3年9月10日～ 令和4年9月30日 (初回) 認定日 令和3年9月10日		家屋状況 		
課題分析(アセスメント)理由	初回のケアプラン作成のため				
利用者の保険・他法情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療保険：後期高齢者医療</li> <li>身体障害者手帳：申請予定</li> <li>年金(厚生、国民、遺族、身障等)</li> <li>その他</li> </ul>				
現在利用しているサービス	新規申請につき、なし				